稲穂

小樽市立稲穂小学校
学校だより　No.8
令和７年１１月４日
文責　校長　遠藤隆典

【学校の教育目標】
りこうで
たっしゃで
ほがらかな
稲穂の子

稲穂小 WEB

稲穂小学校開校 130 周年　おめでとう！

事務主幹　森末　武雄

秋も深まり、朝夕の冷え込みに季節の移ろいを感じる頃となりました。先月行われた学習発表会では、テーマ「一人ひとりが輝く 130 周年の舞台に!!」のもと、自分の役割に真剣に向き合い、仲間と協力しながら練習を重ね、日頃の学びの成果を堂々と発表する姿が印象的でした。子どもたちはこの場を通して、また一段も二段も成長したのではないでしょうか。

さて、今月いよいよ開校 130 周年記念事業の式典を迎えます。長い歴史の中で築かれてきた本校の歩みを振り返り、地域の皆様や卒業生の方々とのつながりを改めて感じる貴重な機会となります。私も事務職員として記念事業の準備に携わる中で、学校が多くの方々に支えられていることを改めて実感しています。記念事業に際して多くの方々から寄せられた寄付金により、体育館用カーペットや大音量アンプ付きスピーカーを購入させていただき、学習発表会やハロウィンパレードなど、子どもたちの活動の場面に有効に活用させていただいており、心より感謝申し上げます。

近年、全国的に PTA 活動の縮小が進む中、本校では保護者の皆様のご理解とご協力のもと、精力的な活動が続けられています。式典の運営や環境整備など、子どもたちのために力を尽くしてくださり、重ねて感謝申し上げます。

先人の方々のご尽力、ご苦労に深く感謝するとともに、今を生きる子どもたちがその歩みを受け継ぎ、未来へとつなげていく節目の行事となることを願っています。

これからも、子どもたちの健やかな成長を支える環境づくりに努めてまいります。皆様の温かいご支援を、今後ともよろしくお願いいたします。

10/25 PTA ハロウィンパレード 2025

いよいよ 11 月 15 日に開校 130 周年記念式典が行われます！

しらかばホールにて回顧展を開催中です。写真や資料、歴代Ｔシャツなど展示しています。式典当日以外にも見れますのでぜひお越しください。

会場の都合により式典は保護者及び学校関係者に案内させていただいています。ご了承ください。

ハロウィンパレード終了！商店街・事務局・保護者の皆さん、ありがとうございました！

10月25日、都通り＆サンモール商店街にてPTAハロウィンパレードが行われ、児童・保護者約１８０名が楽しい時間を過ごすことができました。

今年で３回目を迎えましたが、商店街さんからも賑わいが生まれ感謝されるなど、ウインウインな活動となっていて素晴らしいと感じます。このイベントを精力的に進めてくださる伊藤PTA会長、事務局の皆さんの願いである「子どもたちが地域との関わりを深め、ふるさとへの想いを深める機会の創出」として定着しつつあることをうれしく思います。

地域イベントは簡単に実施できるものではありませんが、本校PTA事務局と積極的にお手伝いしてくださる保護者、教職員、そして活動に示し協賛いただいている２つの商店街の皆様のあたたかいご尽力により実現することができています。あらためて校区にこのような商店街のある稲穂小は恵まれていると感じました。PTA事務局、ご協力いただいた保護者の皆様、都通り・サンモール商店街の皆様、本当にありがとうございました。

ポエムコンクールで４名が受賞！

第11回小樽こどもの詩コンクールにおいて本校児童４名が表彰されました。市内の全小中学校の児童生徒の作品全4504点から選ばれたものです。素晴らしいことです！

詩の創作は、豊かな表現力につながります。

これからも思いのままに子どもらしい気持ちをストレートに表現するポエム（詩）づくりや、季節の感動や日常の思いを工夫して表現する俳句・川柳づくりにも、進んでチャレンジしていってほしいと思います。

【低学年の部】
◇銅賞（小樽商工会議所賞）
　２年　平野雅空さん「うきわポヨヨン」
◇優良賞
　２年　村田千彩さん「あめのひ」
【高学年の部】
◇銅賞（小樽商工会議所賞）
　５年　吉田美槻さん「花と人」
◇優良賞
　６年　平岡　京さん「絵」

様々な頑張りが輝いた学習発表会！

「一人ひとりが輝く130周年の舞台に!!」のテーマのもと、子どもたちは仲間と心を一つにして自分の力を出し切る大切さを学んだ行事となりました。行事に伴う様々な活動の中で自分の役割を“自分事”として捉えることや力を出し切ることの大切さを学びながらそれぞれが力を輝かせていました。

学校では、子どもたちの主体的な力を育み高めることに力を入れていますが、今回の学習発表会でも、１年生が劇のお話をグループごとに考える構成とするなど、各学年で子どもたちにゆだねる工夫をし、教師が励ましアドバイスを送り自分事として活動していけるように取り組んできました。やるべきことに対して、自分で考えさせ行動させる、つまり「ゆだねる」ということは、時間がかかり思うように進まないなど難しさもあります。しかし、そのような経験が子どもの主体性を育むうえで大切な経験となります。学校・家庭で「ゆだねる」場面を工夫して、主体性を育んでいけたらと考えています。